

## 平成30年9月7日豪雨復興応援

実施事業名：

### 絵本作家サトシンさんの絵本よみまショー

実施者名：

晴れの国おかやま絵本読み聞かせ隊

助成金額：

150,000円

#### 実施した事業の内容・成果

(1) 実施日、場所、参加人数

①平成30年8月30日(木)

・【9:00~10:00】

倉敷市立菌幼稚園

(倉敷市真備町市場4351) 約60人

・【11:00~12:00】

倉敷市立二万幼稚園

(倉敷市真備町上二万2493) 約50人

・【13:00~14:00】

倉敷市立岡田幼稚園

(倉敷市真備町岡田625-2) 約50人

②平成30年9月2日(日)

・【11:00~12:00】

やかげ文化センター

(小田郡矢掛町2677-1) 約70人

・【15:00~16:00】

宮脇書店総社店Kiitos

(総社市井手1049-1) 約100人

③平成30年9月3日(月)

・岡山市立平島小学校

(岡山市東区東平島1293)

【5時間目：14:10~14:55】

(1・3年生) 約60人

【6時間目：15:05~15:50】

(2・3年生) 約60人

(2) 実施事業内容

「おてて絵本」提唱者の絵本作家サトシンさんによる、被災地域を応援する思いを込めた絵本の読み聞かせライブを通じて、被災や避難生活で心身ともに疲労している被災地域の園児、児童、その保護者等に笑顔を届けることを目的に県内の豪雨の被災地6カ所7回の講演会を実施し、合計約450人が参加した。

岡山県はこれまで災害が少なく、今回の突然の被災で子どもたちが負った傷は計り知れない。被災や避難生活で心身ともに疲労している子どもたちが、せめて、ひとときでも元気になれるよう、また、笑顔を取り戻せるよう東日本大震災や熊本地震でも、同様

の読み聞かせライブを多数実施し好評であるサトシンさんによる、絵本を音楽にのせて歌い、語り、子ども達と一緒に楽しめる絵本ライブに、参加した子どもはもちろん、保護者や日頃絵本に接する機会の少ない大人の参加者もいつしか笑顔で手拍子を打ちながらライブに参加し、元気をもらったと大変好評であった。絵本は、子どもとおとなと一緒に笑ったり泣いたりしながら楽しむことができ、それぞれの感想を持つことのできる素晴らしいツールであることを再認識したとともに、参加者の反応を見聞き、今後も継続的な取組支援が必要であると感じた。

①の3幼稚園会場においては、岡山県マスコットの“ももっち”と“うらっち”も応援にかけつけ、ライブ会場の準備を行う講演前の15分程度を活用し、一緒にじゃんけんをしたり、体操をしたりといったふれあう中で子どもたちが大変喜んだ。この3園は、被災以降、保護者が片付け、各種手続き、仕事等で忙しい中で預かり保育を続けており、状況に応じた変則的な登園方法を取っているため、参加者はその日次第であったが、事前告知の効果もあってか、大勢の園児が登園した。中にはスタッフにそっと甘える園児の姿が見受けられ、幼いながら、懸命に事態を受け止め耐えている様子も見て取れた。

②の矢掛会場においては、矢掛地域で地域活動を繰り広げている「やかげ小中高こども連合」の会員（小学生、中学生、高校生約10名）と一緒に運営を行った。講師との掛け合いが活発で、他の会場に比べ三世代家族での参加が多く、講演後、講師とともに笑顔で家族写真を撮影するほほえましい様子に見られた。

また、②の総社会場においては、地域密着型の地元の書店のイベントスペースが予想を遙かに上回り、会場に入りきれないほどの人気ぶりであったため、場所を取るプロジェクター方式から急遽絵本そのものを読む方式に切り換えて対応した。近くの介護施設からも利用者10数名がスタッフとともに参加され、絵本に対するニーズの幅広さに驚いた。

さらに③の平島小学校においては、普段から本に親しむ環境が豊かであるためか、かけあいの反応がとてよかった。校内の浸水した体育館では、床を重機ではがす工事が行われるなど、被害の爪痕を間近に感じる環境の中で、子どもたちの感性に訴える読み聞かせの実施は、子どもたちのココロに寄り添う支援として、大変有効であると感じた。

今回の活動を通じて、各被災地域の幼稚園、小学校、地域の子育て応援団体、地域づくり団体等の大勢の意欲的な方々とながらつながりを持つことができたとともに、今後の活動についても共に協力し合えることができそうで今後の活動自体の広がりの可能性を得ることができた。

#### 【参加者の感想】

○幼稚園児（5歳、女兒）

絵本も楽しかったし、ももっちとうらっちと一緒に遊べて嬉しかった。サトシンさんの歌もおもしろかった。

○小学生（8歳、男児）

家が水に浸かって落ち込んだけれど、いっぱい笑って楽しめた。

○保護者（30代、女性）

サトシンさんは、とにかくパワフルで、こんな読み聞かせ見たことがない。歌って騒いで、とにかく楽しかった。大人になりたくない子どもが増えているそうで、大人になったら楽しいことがいっぱいできるよ、大人って楽しいよというメッセージを子どもにいっぱい届けてくれた。被災地域に笑いと笑顔と元気をたくさん届けてくれてありがとうございました。明日からまたがんばります。

○保護者（20代、女性）

親子で参加した。久しぶりに子ども

もの自然な笑顔が見られて私自身も癒やされました。感謝でいっぱいです。

○学校関係者（50代、男性）

「絵本は子どものもの」という思い込みで完全になめていた。これほどまでに、幼児からおじいちゃんおばあちゃんまで一緒になって、みんなが元気で優しくてあったかい気持ちになれるなんて正直驚いた。サトシンさんの歌、トーク、読み聞かせ、ものすごいエネルギーと子どもにも大人にも届くメッセージで、みんな笑顔で元気になった。今後、絵本を活用した同様のイベントを自分でも企画したい。

○講師（サトシンさん）

報道等である程度知識はあったが、被災地を実際に訪れてあらためて、経済的な打撃も大きく復興には相当の時間がかかりそうだと感じ、「楽しさから元気へ」的な復興応援を今後も継続的に実施することの必要性を強く思った。地域の大人たちが協力し合って主体的に活動をする事、大人や子どもたちにその様子を見せていくことも重要であると思う。

今回は時間の関係で割愛したが、他の被災地の避難所で好評の「おてて絵本」で、子どもたちのものがたりを聞いてあげられなくて残念だった。

なお、活動の様子は、メディアでも取り上げられた。

- ・ R S K テレビ 8/30夕方のニュース：8/30真備町でのイベントの様子  
8/31「4時まな」：サトシンさん生出演(9/2,3告知)
- ・ R S K ラジオ 8/31「かもなマイradio」にサトシンさん生出演(9/2,3告知)
- ・ 山陽新聞 9/5朝刊：9/3の平島小学校のイベントの様子
- ・ 矢掛放送 9/10-12、16日ニュース：9/2 矢掛町でのイベントの様子



## 決算報告

今回実施した事業の決算内容は下記の通りです。

費目	金額 (円)
ももたろう基金	150,000
自己資金	2,194
収入合計	152,194

費目	算出根拠	金額 (円)	
①当プログラム助成金 対象費目 当プログラム助成金 (このプログラムで集めた寄付金) を充てる費目	講師報酬 (絵本作家)	@5,000円×7回	105,000
	講師旅費	岡山市-真備町-矢掛町-総社市-岡山市	6,105
	講師宿泊費	8/29, 30, 9/1, 2宿泊費・駐車場代	23,000
	熱中症対策	飲み物、塩飴	3,804
	広報費	チラシ作成および配布 (真備町・矢掛町・総社市・岡山市4箇所)	5,616
	会場使用料	矢掛町	2,500
	消耗品費	(ノリ・ビニール袋)	569
	寄贈絵本	菟小学校・二万小学校・岡田幼稚園・平島小学校 全4冊	5,600
	小計		152,194
	②その他費目 当プログラム助成金 (このプログラムで集めた寄付金) を充てない費目		
小計		0	

## 寄付者へのメッセージ

今回の助成金により、被災した親子の心のケアをすることができました。ありがとうございます。今後も引き続き継続的な支援を行って行きたいと思います。

## 今後の活動

公益法人協会「西日本豪雨災害 草の根支援組織応援基金」

を活用した読み聞かせイベントを開催します。(平成30年2月予定)